

2021 年度第 6 回 外洋常任委員会 議事録

開催日；2022 年 1 月 19 日（水）18:00～19:15

会議の場所及び方法：WEB 会議（Zoom）

出席者：（理事）

中澤信夫 副会長、中村隆夫 副会長、大村雅一 常務理事、望月宣武 常務理事、平松隆 理事、橘田佳音利 理事、新田肇 理事、中村和哉 理事、菊池邦仁 理事、安田大助 理事、宇都光伸 理事、岩瀬善貞 理事

（委員会関係）

川合紀行 外洋計測委員長、平出篤志 外洋安全委員会（代理）、

日下部大蔵 ルール委員会外洋規則小委員会委員長

船澤泰隆 国際委員会外洋小委員会委員長、金子純代 キールボート強化委員長、

服部好彦 ジャパンカップ委員会委員長、

坂谷定生 参与、鈴木一行 オリンピック外洋小委員会委員

鈴木保夫 外洋事務局長、

小山悟 外洋艇登録事務局長

記録者 鈴木保夫

大村常務理事の進行で 18：00 より開始した。

- ・中澤副会長開会挨拶

コロナの感染者が増加しているが感染予防をして活動を進めていきたい。

議事

1. キールボート強化戦略について

大村常務より資料に基づき、戦略の内容はロスオリンピックで予定されているチームレースとオフショアダブルハンドの 2 つに分けて作成したこと及び、この案に対して事前に新田理事から、広く普及も含めて戦略が必要ではないかとの意見があったことも合わせて説明され、これについて以下の質疑があった。

岩瀬：チームレースは艇を準備することが必要ではないか。

坂谷：外洋常任委員会として作成したのか？

大村：JSAF としてだが、取りあえず外洋常任委員会の案として作った、その後拡充する予定。

岩瀬：この戦略は日本代表チームを作るためか？

大村：ナショナルチームを養成して進んでいきたい。

平松：目標はオリンピックだが、その前にワールドカップが開催されると思うが。

大村：ワールドセーリングがやるオフショアレースも対象と考える。

皆さんから異議がなければこの案を理事会に提出する。

2. 2022 年度事業計画・予算（案）

大村常務理事より、資料に基づき以下の説明があった。

新しい事業計画として、セールナンバー登録の普及拡大と安全の推進を入れた。

予算（案）は、外洋艇登録事務局の年間予算、新しくできる通信委員会の経費を計上。

サバイバルトレーニングはオリンピック強化の予算となる。

1 月 28 日に財務委員会のヒアリングで確定する。

3. 外洋団体長会議の議題

大村常務より団体長会議の議題と、会議はオリンピックスクエアの会議室と WEB との併用で開催すること、馬場会長も参加予定であること等が説明された。

次に計測委員会とルール小員会の報告内容及び外洋常任委員会から通信委員会の設置、サバイバルトレーニングの報告をすることが確認された。

まだ資料の出ていない委員会については事務局に提出され次第資料を送付する。

4. 理事の改選について

2022 年度水域理事の推薦理事候補者の選出について現水域理事より以下の報告があった。

菊池：次期は津軽海峡より選出することで調整している。

新田：東京湾から選出する方向で調整している。

岩瀬：調整中である。

安田：今期に引き続き継続の予定。

宇都：九州・沖縄については玄海から選出することで調整がついている。

中澤副会長から選挙理事については、2 月 24 日が立候補者の書類提出日、投票は WEB 投票で行い、3 月 24 日が投票の締め切りであることが説明された。

5. その他

・レースアドバイザー制度

大村：岩瀬理事から提案のあった、レースアドバイザーについては現在ルール委員会と協力して、細部を詰めてこの春からテスト運用したいと考えている。

アドバイザーの派遣費用についても協議していく。

- ・外洋ダブルス

大村：昨年は中止になったが、2022 年度もレースの準備を始める。

和歌山⇒蒲郡のコースで話を進めている。

鈴木一行さんにレースオフィサーをお願いしている。

- ・合同委員会の開催

川合：2 月 5 日に合同委員会の会議がある。

申込の締め切りが 21 日（金）なので申し込みがまだの方は申し込んで欲しい。

服部：ジャパンカップは 2022 年に「ジャパンカップウィーク」として 9 月に相模湾で開催することで準備を進めている。

平出：OSR の改正の年なので、速報を外洋安全委員会の SNS で発表している。

安全委員会の業務の一つとして無線講習を行っていたが、通信委員会に移管したい。

- ・閉会の挨拶

中村副会長の、コロナ禍で中々リアルに会えないが宜しくお願いします。との閉会の挨拶で 19；15 分に閉会となった。

以上